

こだなか

大ヶ谷戸小田中町会
安心と絆を紡いだ70年

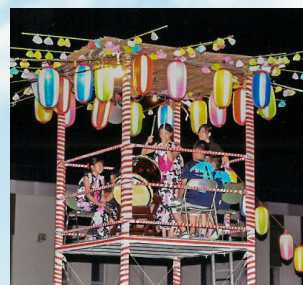
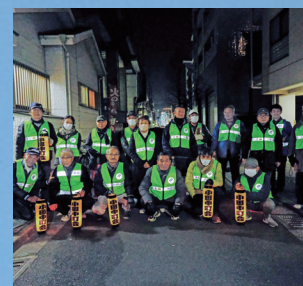
70th Anniversary

大ヶ谷戸小田中町会70周年

大ヶ谷戸小田中町会

発行：大ヶ谷戸小田中町会広報委員会
神奈川県川崎市中原区上小田中3-3-20
2025年3月
<https://www.kodanaka.com/>





これまでのありがとうを
あたらしい未来へ

大ヶ谷戸小田中町会は 70周年を迎えました

昭和29年設立の大ヶ谷戸小田中町会は今年度で創立70周年を迎えました。
この間、町会の基礎づくりにご尽力頂いた諸先輩の方々、ならびに様々な形で
町会活動に携わっていただいた役員・会員の皆さまに心より感謝申し上げます。

設立当初の大ヶ谷戸小田中町会は、耕作地と農家および商店が点在する
小さな地域でしたが、時代の流れとともに町会は成長を遂げ、現在ではおよそ
2,800世帯を超えるまでになりました。この発展は地域の変化によるものが
大きいですが、町会としてもその変化に対応しながら歩んでまいりました。

昭和40年代には、地域の子どもたちを支えるために子ども会を設立し、
運動会や野球部活動などを通じて地域の絆を深めました。また、大ヶ谷戸
小学校が開校し、教育環境が整う中で、町会活動もより活発化しました。
時代が平成に移ると、ソフトボール大会やグランドゴルフ大会など、世代を問
わず楽しめるイベントが増え、地域の一体感が育まれました。加えて、防犯・防災
活動や美化活動に力を入れ、町会内の安全・安心を守る取り組みも進みました。

70年間、町会活動を支えてくださった皆さまに心から感謝いたします。今後
も地域社会が直面するさまざまな課題に柔軟に対応し、住みやすく安心して暮
らせる町づくりを目指して、引き続き皆さまと共に歩んでいきたいと考えます。

70周年を迎えるにあたり、改めて皆さまのこれまでのご支援に感謝申し
上げ、今後とも変わらぬご協力をお願い申し上げます。



大ヶ谷戸小田中町会会長

原 増男



『大ヶ谷戸小田中町会 創立70周年祝辞』



中原区長
板橋 茂夫

大ヶ谷戸小田中町会が、この度創立70周年を迎えられましたことに心からお慶び申し上げます。

町会発足以来永きにわたり、住み良い地域社会の形成や地域課題の解決等にこれまで取り組まれてきましたことは、現会長の原増男会長をはじめ、歴代の会長や多くの関係者の皆様の熱意と努力によるものであり、深く敬意を表します。また、中原区の振興・発展に多大な御貢献をいただいておりますことに感謝申し上げます。

貴町会が70年間の歩みの中で、人と人との「つながり」を大切にしながら、良好なコミュニケーションの形成に尽力され、近隣町会合同の納涼盆踊り大会をはじめ、ガーデニング活動などの環境美化活動、各種スポーツ活動や子ども会活動など、地域生活を豊かにする幅広い活動を行っていただいているからこそ、会員の皆様が安心して暮らせる住み良いまちを実感できていると思います。

川崎市におきましても、令和6年に市制100周年という節目を迎えました。今年は101年目として新たな一歩が始まる年になります。まちを住み良くしていくベースは愛着づくりだと思っています。区民の皆様にはぜひ中原区の好きなところを見つけて、愛着を持ち続けていただきたいと思います。中原区といたしましては、皆様にいつまでも住み続けたい・住んで良かったと感じていただける魅力あるまちづくりが重要と考えておりますので、一步一步着実に様々な課題に取り組んでまいります。引き続き会員の皆様には区政に御協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに貴町会の益々の御発展と、会員の皆様方の御健勝と御多幸を心から御祈念申し上げ、祝辞とさせていただきます。

大ヶ谷戸小田中町会の“これまで” 昭和29年～昭和48年


年代	町会の主な出来事 / 歴代町会長	社会・地域の主な出来事
昭和29年 1954年	大ヶ谷戸小田中町会設立 婦人部設立 初代部長:中里あけみ氏	第五福竜丸事件 自衛隊発足
昭和30年 1955年		保守合同で55年体制成立 森永ヒ素ミルク中毒事件
昭和31年 1956年		日ソ共同宣言 国際連合加盟
昭和32年 1957年		南極に昭和基地開設 ソ連人口衛星スプートニク打ち上げ成功
昭和33年 1958年	昭和30年代の武蔵新城駅	東京タワー竣工
昭和34年 1959年		伊勢湾台風 死者・行方不明5098人
昭和35年 1960年	昭和30年代の大ヶ谷戸バス停	カラーテレビ本放送開始
昭和36年 1961年		ガガーリン人類初の宇宙飛行
昭和37年 1962年		キューバ危機 等々力陸上競技場開場
昭和38年 1963年	子ども会活動開始 初代会長:黒沼豊太郎氏	黒部ダム完成 ケネディ大統領暗殺
昭和39年 1964年	子ども会役員の皆さん(1965年頃)	東京オリンピック開催 東海道新幹線開通
昭和40年 1965年		日韓基本条約調印
昭和41年 1966年	子ども会運動会開始 写真(上)は第1回運動会の様子 町会世帯数449世帯に	全日空羽田沖墜落事故 大ヶ谷戸小学校開校
昭和42年 1967年		佐藤首相非核3原則言明 日本の人口1億人を突破
昭和43年 1968年		東大紛争
昭和44年 1969年		アポロ11号月面着陸
昭和45年 1970年	野球部設立 初代監督:木村昭伍氏 写真(下)は設立当初のチーム集合写真	大阪万博開催
昭和46年 1971年		沖縄本土復帰決定(72年復帰)
昭和47年 1972年		横井庄一さん帰還 連合赤軍あさま山荘事件
昭和48年 1973年	第1回餅つき大会	第1次オイルショック

※5代目までの就任・退任時期は不詳です。







大ヶ谷戸小田中町会の“これまで” 昭和49年～平成2年

年代	町会の主な出来事 / 歴代町会長	社会・地域の主な出来事
昭和49年 1974年	 6代目町会長: 齊藤 寛四郎	ユリ・ゲラー来日 超能力ブーム
昭和50年 1975年		サイゴン陥落 ベトナム戦争終結
昭和51年 1976年		ロッキード事件
昭和52年 1977年		スーパーカーブーム
昭和53年 1978年		日中平和友好条約調印 成田国際空港開港
昭和54年 1979年	ドッジボール部設立 初代監督: 岸 義雄氏	第2次オイルショック 第1回中原区民祭開催
昭和55年 1980年		モスクワオリンピック 日本等の西側諸国不参加
昭和56年 1981年		ローマ法王来日
昭和57年 1982年		ホテルニュージャパン火災
昭和58年 1983年		田中角栄実刑判決 東京ディズニーランド開園
昭和59年 1984年	 ソフトボール大会の様子(写真は2000年以降)	グリコ・森永脅迫事件
昭和60年 1985年		日航ジャンボ機墜落事故
昭和61年 1986年		チェルノブイリ原発事故
昭和62年 1987年		国鉄分割民営化 バブル景気始まる
昭和63年 1988年		青函トンネル開通 東京ドームオープン 川崎市民ミュージアム開館
平成元年 1989年	 1986年頃の武蔵新城駅と水田	ベルリンの壁崩壊 消費税スタート JR南武線の武蔵小杉から第三京浜までを高架化 イラクがクウェート侵攻
平成2年 1990年		

大ヶ谷戸小田中町会の“これまで” 平成3年～平成19年

年代	町会の主な出来事 / 歴代町会長	社会・地域の主な出来事	
平成3年 1991年	 90年代の庚申通商店会	ソ連崩壊 雲仙普賢岳噴火	
平成4年 1992年		PKO協力法成立 カンボジアに自衛隊派遣	
平成5年 1993年		非自民 細川連立政権成立	
平成6年 1994年		円高加速 戦後初の100円突破	
平成7年 1995年		阪神・淡路大震災 とどろきアリーナ開館	
平成8年 1996年	町会会館完成	薬害エイズ問題で国が謝罪	
平成9年 1997年		神戸の小学生殺害事件 14歳少年を逮捕	
平成10年 1998年		和歌山市内でカレーにヒ素混入	
平成11年 1999年		東海村で国内初の核臨界事故発生	
平成12年 2000年		三宅島が噴火 全住民島外避難	
平成13年 2001年		小泉政権発足 構造改革スタート	
平成14年 2002年	すみれ会設立 初代会長:小林幸悦氏	 7代町会長:志村 勝	北朝鮮金総書記「拉致」を謝罪
平成15年 2003年	会報こだなか発刊		米英軍がイラク攻撃 フセイン元大統領を拘束
平成16年 2004年	グランドゴルフ大会開始		新潟県中越地震発災
平成17年 2005年	 美化運動開始 五町会合同納涼盆踊り大会開始 創立50周年イベント開催(上写真)		JR福知山線で脱線事故 宮内新横浜線開通
平成18年 2006年			堀江貴文元ライブドア社長逮捕
平成19年 2007年	グランアルト自治会 町会に加入	年金記録未統合5000万件判明	

大ヶ谷戸小田中町会の“これまで” 平成20年～令和6年

年代	町会の主な出来事 / 歴代町会長	社会・地域の主な出来事
平成20年 2008年		東証、バブル後最安値記録 (7162円90銭)
昭和21年 2009年		総選挙で民主党過半数獲得 鳩山政権成立
平成22年 2010年		小惑星探査機「はやぶさ」 7年ぶりに帰還
平成23年 2011年		東日本大震災発生 (M9.0は観測史上最大) 東京電力福島第1原発事故
平成24年 2012年		総選挙で自公圧勝 政権交代
平成25年 2013年	こだなかガーデニングクラブ発足 ※写真(下)は発足時の活動の様子	アベノミクス本格始動
平成26年 2014年		憲法解釈で集団的自衛権容認
平成27年 2015年	8代目町会長: 齊藤 春夫 	安全保障関連法成立
平成28年 2016年		熊本地震発生
平成29年 2017年	9代目町会長: 井上 頼武 	「森友・加計」問題 国会で問題化
平成30年 2018年		オウム松本元死刑囚らの刑執行
令和元年 2019年		天皇陛下即位「令和」に改元
令和2年 2020年	新型コロナの感染拡大を受け町会活動を自粛 ※美化運動では参加者は検温・消毒(上写真)	新型コロナ感染拡大 ・緊急事態宣言発出
令和3年 2021年	町会ホームページ開設 https://www.kodanaka.com/	東京五輪 コロナで1年遅れ開催
令和4年 2022年	 	安倍元首相撃たれ死亡
令和5年 2023年	10代目町会長: 原 増男 	新型コロナ「5類」へ移行
令和6年 2024年		令和6年能登半島地震 気象庁「南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震注意)」発表

大ヶ谷戸小田中町会の“いま” 役員の紹介

町会長



原 増男

副会長



村上 睦

会計



志村 達也

総務委員長



吉川 カヨ子

大ヶ谷戸小田中町会は町会エリア(上小田中3丁目と5丁目の一部)を6つの「部」に分け活動しています。
各部の部長は町会役員を兼務しています。



グランアルト部部长



尾関 雅博

4部部长



大塚 孝司

1部部长



斉藤 光延

2部部长



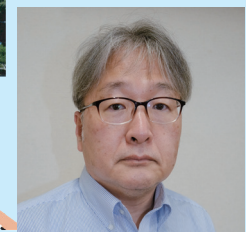
斉藤 定一

3部部长



工藤 由美雄

5部部长

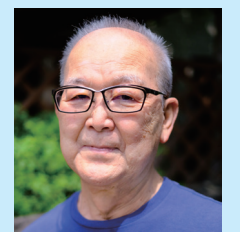


堀田 正彦

監事



大塚 俊治



馬場 伸夫

上記メンバーに、専門委員会の委員長や子ども会、すみれ会
会長を加え、毎月1回役員会を開催しています。

大ヶ谷戸小田中町会の“いま” 町会活動の紹介

大ヶ谷戸小田中町会では地域のより良いくらし、町の安全のために、各委員の皆さんの力を借りながら様々な活動を展開しています。

きれいな町づくり

道路や公園のごみ拾い・雑草抜き、ごみ集積所の管理、公園の草花を植える活動などを行っています。



美化活動



ガーデニング活動

美化委員や廃棄物減量指導員(公的委員)を中心となり活動を支援しています。



美化委員 ※委員の一部

交流・ふれあい

納涼盆踊り大会や関神社例大祭、グランドゴルフ大会、ボーリング大会、歩こう会など会員同士で楽しめるイベントを開催しています。



関神社例大祭神輿



グランドゴルフ



納涼盆踊り大会

催事委員や体育委員、すみれ会が中心となり活動を支援しています。



体育委員



すみれ会

安心・安全の町づくり

防犯・見回りの巡回や年末の夜警、特殊詐欺への注意喚起などをおこなっています。



年末夜警の様子

特殊詐欺に気をつけよう

詐欺だけでなく、さまざまな手口の特殊詐欺が
付を装った特殊詐欺
につき、お客様の所在確認
という見出しのメール
どが「特別定額給付金」に、手数料の
納付が「おしり」で、

広報紙より

防災防犯委員や青少年指導員・少年指導員・交通指導員・保護司・民生児童委員(公的委員)、社会福祉協議会、消防団が中心となり活動を支援しています。

災害への備え

大規模災害を想定した避難訓練や救命救助訓練、会報を通じた啓発等をおこなっています。



防災訓練



防災防犯委員 ※委員の一部

情報の共有

町会の会報や市・県等の広報紙を配布・回覧しています。また、町会のホームページを通じて情報発信しています。



広報委員や各部の役員が中心となり活動を支援しています。



<https://www.kodanaka.com/>



広報委員



町会広報紙

子どもの育成

こども会活動を通じて、夏休みのラジオ体操や餅つきや野球部活動など子どもの健全育成をおこなっています。



子ども夢パーク



餅つき大会

こども会が中心となり活動を支援しています。



こども会メンバー ※メンバーの一部



ラジオ体操

総務委員や婦人委員の皆さんが様々な町会の諸活動を支援しています。また、婦人委員会はガーデニング教室等の交流活動を実施しています。



総務委員



婦人委員



ガーデニング教室

大ヶ谷戸小田中町会の“これから” NEXT 100



少子高齢化、自然災害の大規模化・頻発化、人々の孤立など、地域社会は多くの課題に直面しています。

価値観の多様化、ジェンダーレス、SNS等の非対面コミュニケーションの広がりなどにより、課題は複雑かつ難しさを増しています。

課題を町会だけで解決することはできませんが、町会が持つ“たすけあい”機能は課題解決には不可欠です。

大事なことは「変える勇気」と「変えない勇気」をもつこと。時代に即して柔軟機敏に活動を見直しつつも、70年間培ってきた“たすけあい”の機能を今後も継承していきます。

